

皆さんの声が活かされた事例を紹介

本年度、市民の皆さんから寄せられた意見を基に、すでに実施または実現に向けて検討を進めているものの一部を紹介します。



転入手続きの待ち時間を利用して、市のごみ分別ルールを周知しては？

区役所ロビーのモニターで ごみの分別方法を案内する画像を放映

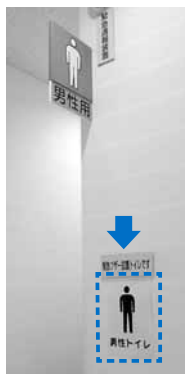
区役所の戸籍住民課に設置しているモニターで、9分間に1回、ごみの分別方法を紹介する画像の放映を始めました。



視力が悪いので、エルプラザ公共施設内のトイレの表示が見分けづらいです

誰でも見分けがつきやすいように、男女別のイラストを黒色で表示した案内板を設置

トイレ表示は青色や茶色に白抜きの男女別のイラストで表示していますが、新たに色覚障がいのある方も区別しやすいデザインの看板を取り付けました。



他にも声が活かされている 取り組みがあります

- 妊婦健診に必要な受診票の記載項目が多いという声を受け、4月から住所は区までの記入に簡略化
- 市役所19階に行かなくても展望回廊の開放状況が分かるように、正面玄関に案内板を設置 など



地下鉄車両とホーム間の隙間や段差は、ベビーカー利用者や高齢者には大変です

隙間が15cm以上ある場所に 転落防止ゴムの設置を進めています

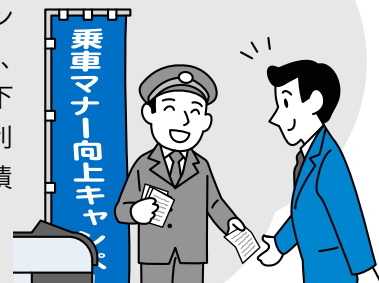
転落防止ゴムの取り付けは平成28年度までに終える予定です。また、27年度以降に行う東豊線の車両更新では、現行より床を3cm低くした車両の導入を計画しています。



地下鉄の乗車マナーの啓発が不十分。 もっと周知しては？

ポスターなどで積極的に呼び掛けます

来年度から新たなデザインのポスターを張り出すほか、転入者が多い4月には地下鉄の乗車マナーや安全な利用についての呼び掛けを積極的に行います。



市の事業を紹介するパンフレットが たくさんあるのに、市民にあまり知られていないのでは？

市のパンフレットをテーマ別にまとめて ホームページで紹介

市のホームページ上に「パンフレットライブラリー」を開設し、災害や子育てなどテーマ別に一覧で見られるようにしました。

市の取り組みやまちづくりに
意見をお寄せください

今回紹介した他にも、まちづくりに市民の声が活かされている例がいくつもあります。市は、これからも皆さんの声をお聞きする機会を積極的に設け、より暮らしやすい札幌を一緒につくっていきます。ぜひ気軽に意見をお寄せください。